

活動報告

平成19年度 厚生連放射線技師会学術活動

栃尾郷病院放射線科；診療放射線技師

わかばやし ふじ あき
若林富士昭

厚生連放射線技師会が平成19年度に行った研修会は、研修委員会担当の春季・秋季「厚生連放射線技師会研修会」、教育委員会担当の前期・後期「新採用・3年未満技師合同研修会」、年1回の「技師長・主任研修会」が例年通りありました。実際に研修会の企画運営を行っている研修委員会と教育委員会は担当の理事と中堅技師数名で構成されていますが、常に最新の話題・内容が求められる各委員会での活動のなかで、委員側の様々な成長も目的のひとつとなっています。

春季・秋季「厚生連放射線技師会研修会」では、会員研究発表を毎回参加者全員で研究発表評価を行い1年単位で優秀者を表彰しています。又、その優秀研究を他の学会で発表してもらったり、厚生連医誌に投稿依頼をしています。

新人研修は、今年度も新採用技師と3年未満技師の合同研修会で行いました。又、一般技師が参加可能な形式での開催としました。内容的には年々レベルアップしており、新人技師にはレポート提出等で大変のようでしたが今後も継続していきたいと思います。

全県・全国的な研究会・学会等につきましては例年通りの参加でした。特に全国学会に参加する事は、全国レベルの放射線関連最新技術や知識に直接触れることができる貴重な機会ですが、反面最近学会に入っていない技師が見られるようになって来たことは残念な所です。又、モダリティ別のより専門的な県内規模の研究会は益々盛んに行われるようになり、厚生連からも多くの技師が参加しています。

以下、平成19年度各研修会の活動内容を示します。

【第106回厚生連放射線技師会春季研修会】

時 平成19年5月27日（日）
所 朱鷺メッセ（中会議室301）

内容 パネルディスカッション「厚生連における MDCT の現状」
司会 村上総合病院 五十嵐 豊

パネリスト

- | | |
|------------|-------|
| 1 佐渡総合病院 | 八藤後拓哉 |
| 2 村上総合病院 | 富樫 大輔 |
| 3 長岡中央総合病院 | 松本隆之介 |
| 4 刈羽郡総合病院 | 石井 真 |
| 5 上越総合病院 | 脇坂 富男 |

特別講演 「MDCTの最新技術について」
座長 上越総合病院 脇坂 富男

- | | | |
|--------------------|------------------|--------|
| 1 東芝メディカルシステムズ | 関東支社営業推進部 CT担当 | 前川 智昭様 |
| 2 フィリップスメディカルシステムズ | T&C サポート部 CT | 水口しのお様 |
| 3 GE 横河メディカルシステム | CTセールス&マーケティング部 | 入江 弘幸様 |
| 4 シーメンス旭メディテック | マーケティング本部 CTグループ | 吉田 博和様 |

【要旨】

今回のテーマは「MDCTの現状とこれから」である。はじめに会員5名による「厚生連における MDCT の現状」と題したパネルディスカッションを行い、その後4つのメーカーから「MDCTの最新技術について」と題し講演してもらった。会員発表では MDCT の導入により、短時間で広範囲の細かい画像データを得ることが出来るようになった事で、CT-ANGI Oや3D-CTなどの各種検査がより精密で短時間で可能となった事を実際の臨床画像を使いながら説明していた。施設ごとに装置の能力（列数）が異なるが、心臓に関しては64列がやはり必要であるとの感想であった。又、大量のデータの取扱やフィルムの出力法、ワークステーションでの長時間業務などの問題点も指摘されていた。

メーカーによる講演は、各社それぞれの最新技術を紹介したものであるが、その中で特に256列 CT と 2 管球 CT の話題が関心を呼んでいた。

総会・学会参加報告・諸連絡

【第107回厚生連放射線技師会秋季研修会】

時 平成19年11月25日(日)
所 長岡中央総合病院 講堂

内容 特別講演 1
「診断用マルチスライス CT 搭載 SPECT・CT Symbia の最新情報について」
講師 シーメンス旭メディテック
分子イメージンググループ プロダクトマネージャ
川野 輝喜先生

特別講演 2
「心血管撮影装置」
講師 島津製作所 医療機器事業部 循環器拡販室
鈴木 和也先生

会員研究発表 4題
宿題報告 1題
総会・学会参加報告・諸連絡

【平成19年度新採用・3年未満技師前期合同研修会】

時 平成19年7月13日(金)
所 長岡中央総合病院 中央検診センター会議室(2F)
対象者 島田 和範(長岡)、浅倉 亨(魚沼)、舟波 貴弘(佐渡)
佐藤 和貴(村上)、平丸 直樹(糸魚川)

内容 テーマ・・・リスク、胸部(縦隔)

① リスク・マネジメント	五十嵐一美
② 胸部(縦隔)の解剖	折笠 康宏
③ 胸部CT 1	徳山 克一
④ 胸部CT 2	若山 隆夫
⑤ 特別講義 長岡中央総合病院	佐藤 敏輝先生

【平成19年度新採用・3年未満技師後期合同研修会】

時 平成19年12月8日(土)
所 長岡中央総合病院 中央検診センター会議室(2F)
対象者 島田 和範(長岡)、浅倉 亨(魚沼)、舟波 貴弘(佐渡) 佐藤 和貴(村上)
平丸 直樹(糸魚川)、有野 嘉(豊栄)、荻原 義貞(長岡)

内容 テーマ・・・心臓領域

① 心臓の解剖(血管・神経伝達系を中心に)	徳山 克一
② 心臓カテーテルについて	五十嵐一美・木村 庄一
③ 心筋シンチについて	若山 隆夫・折笠 康宏
④ 特別教育講演「心電図を読みましょう」	講師 榎福田医療電子

【平成18年度技師長・主任研修会】(19年度は20年2月開催予定)

時 平成19年2月18日(日)
所 長岡中央総合病院 会議室

内容 講演1 「リーダー・管理職の接遇(クレーム処理など)」
講師 第一製薬株式会社 メディカルリスクマネージャー 杉林 博幸先生

講演2 「大容量画像時代の三次元画像処理」
講師 株式会社エルクコーポレーション 医療情報コンサルティング部 赤木 信裕先生

【要旨】

講演1は、病院における医療安全管理体制の整備状況から医療事故・医療訴訟の現状、患者満足度(Patient Satisfaction=PS)を高める接遇マナー、本日の主テーマであるクレーム対応の基本や処理のポイントについてであった。医療安全管理体制では、紛争防止体制が30~35%の施設で改善の余地があり至急体制整備の必要が有るとの説明であった。医療訴訟については、ここ10年で2倍になるなど増え続けており、そのうち医療機関側の有責が7割に達している傾向である。実際クレームを表面化させる人はありがたい顧客であり、それによりPS向上のきっかけにする貴重な情報源として活用するべきとの事であった。

講演2は、MDCT出現により始まった大量の画像データの取扱についてのものである。特にワークステーション（WS）による画像処理やその画像データの院内運用について詳しく解説していた。又、WSがある各施設よりプレゼンによるWS画像の現状報告をしてもらった。

【平成19年度学会等派遣】

日本放射線技術学会 第63回総会・学術大会（横浜）	5名
日本放射線技師会 平成19年度北関東地域学術研修会（埼玉）	8名
日本放射線技術学会 東北部会 第45回学術大会（新潟）	多数名
日本放射線技師会 第23回総合学術大会（金沢）	5名
日本放射線技術学会 第35回秋季学術大会（名古屋）	2名
日本消化器がん検診学会 第67回関東甲信越地方会（栃木）	1名

(2007/11/20 受付)